

楠まちづくり新聞

つながる会
発行
会長
玉崎和実
事務局
白井春夫
広報部
高石正憲

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり



松ヶ丘連合 あかしあ台 桐ヶ丘中央 消防車による訓練案内
南貴望ヶ丘パークホームズ 楠町 貴望ヶ丘38連合 南貴望ヶ丘
消防団第3分団 炊き出し班 避難行動中のみなさんをプラカード中心に撮影したのが右の写真です。毎回手伝って頂いている団体のみなさんを撮影したのが左の写真です。
木戸西町3-15

自主防災会訓練報告

第四回防災訓練を12月9日に大阪暁光高校の運動場および総合館内で実施しました。

午前8時30分に、中央構造線断層帯を震源とする巨大地震が発生し、市内でも震度6強を記録したことを想定して訓練を開始しました。



訓練参加者による避難所受付
外部実務経験者による講演

新たな試み

今回、二つほど新たな試みに挑戦しました。一つは、「避難所運営マニュアル」に沿って、受付業務を試行しました。

二つ目は、実務経験者の方を外務よりお招きしての講演会を実施しました。



慣れない手つきで大根を切りそろえます
早朝の寒空の下での調理となりました

高校生の活躍

今回、大阪暁光高校の生徒さんに幾つか作業をお願いしました。

一つは、炊き出し用「どん汁」の具材準備をお願いしました。避難所での作業とは常時この様な環境の中で行われるであろうといった体験をして頂きました。

二つ目は、災害に対する日頃からの心構えや準備について、さらに被災し行動する際に注意すべき点などを丁寧に分かりやすく総合館内で五名の高校生に説明してもらいました。

アンケート結果

参加自治会（町会）はさのせいだけでなく本当13団体で百八十五名、その他団体が百二名、総勢二百八十七名の方が参加されました。

アンケート用紙への記入をお願いし、現在その集計結果が出ています。回収されたのは百五十枚で、男性がやや多めの参加です。六十歳代と七十歳代の方が半数近くを占めており、近所にお住まいの方と一緒に参加されていました。

訓練内容については、高校生の発表に高評価が付いています。「どん汁」の言葉がありました、寒し。

次の防災訓練はこれらの意見を反映させて計画します。



バラエティーフェスタ報告



千代田バラエティーフェスタが10月28日（日）に楠小学校の運動場と体育館で開催されました。千代田中学校区青少年健全育成会の主催で行われ「つながる会」は「防災体験コーナー」を担当しました。

軽食を提供するお店や小物を販売するお店があったり、子どもから大人まで遊べるコーナーがあったり、大人顔負けの演舞があったりと、まさしくバラエティーに富んだ5時間余のイベントでした。

来年の開催場所は千代田小学校になる予定です。



「楠まちづくり新聞」十八号で募集をかけたシンボルマークが左の様に決定しました。

多数の応募作品の中から「南貴望ヶ丘」のSさんがデザインされたマークが「つながる会」のシンボルマークとして選ばれました。事前に購入したピンク色のベストの背中央にシンボルマークを印刷しました。

マークの色は紺色、緑色、水色の3種類を基本とします。実際の色合いは印刷の都合で少し違って見えます。

シンボルマーク決定



早速12月の防災訓練に「つながる会」の人間が着用して具合等確かめてみました。左が着用した時の写真です。遠くからでもかなり目立つベストになっています。

ハザードマップ作成



ため池決壊危険度予測 農研機構より

東日本大震災などの大地震、九州北部豪雨や平成30年7月豪雨などの豪雨災害で、ため池が決壊し、ため池の下流域で二次被害が発生しています。



南堤防から見た寺ヶ池

「寺ヶ池ため池ハザードマップ」の完成報告と成果の活用について説明会を2月頃に実施する予定です。詳しい日程については「つながる会」より後日お知らせします。

編集後記
 まちづくり新聞の第二十号をお届けします
 メール kusunoki.info@gmail.com
<https://ksrd.jp/kusunoki/>

市農林課では、ため池の被災による被害を防止し、軽減しようと考え、平成29年度には寺ヶ池の浸水想定区域（ハザードマップ）を作成しました。

平成30年度には府による南側堤体耐震業務が実施され、過去に実施した北側堤体耐震業務の成果と併せて成果を周知させる準備が整いつつあります。

徒に危険をおおるのでなく、「影響下にあることを日頃から認識し備える」ことを目的として説明会を実施します。